

## 令和6年度第1回地域タウンミーティング（池）意見一覧

日時：令和6年5月21日（火） 午後7時～午後8時30分

場所：生涯学習センター池会館 3階大会議室

- ① 池隧道の水門について
- ② コミュニティバスの導入について
- ③ 伊東出身者のUターンについて
- ④ 相続登記されていない土地について
- ⑤ 不動産価格の下落について
- ⑥ 肥料や農薬への補助について
- ⑦ ローカル10,000プロジェクトについて
- ⑧ 学童クラブでの給食の実施について
- ⑨ 支援が必要な子どもに対する取組について
- ⑩ 不登校の子どもたちが通う施設について
- ⑪ オーバーツーリズムの問題について

## 令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-①
<b>池隧道の水門について</b>		
<p>池隧道の水門について、石垣の修繕は今年実施してもらえとのことですが、以前、あの水門で子どもが落ちて亡くなる事故が起きているため、石垣の修繕が済み次第、早々に周りをフェンスで囲い、人が覗けない、近づけないような処置を実施していただきたいです。</p> <p>また、塵除けにかかったごみを引き上げるために区でクレーンを設置し、区の役員で引き上げていますが、クレーンはメンテナンスが必要であり、役員の労力も経費も大きな負担となるため、そういった面でも支援をしていただきたいです。</p>		
回 答		
<p>フェンスにつきましては、しっかりやるように努力してまいります。</p> <p>また、クレーンなどの維持管理経費につきましては、どのように協力できるか相談し、次回報告できるよう準備を進めてまいります。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-②
<b>コミュニティバスの導入について</b>		
<p>池も過疎化して限界化する中で、今後、交通の便が大きな問題になると考えており、全区間200円位でどこまでも乗れるようなコミュニティバス導入を実現していただきたいです。</p>		
回 答		
<p>現在、コミュニティバス導入は行っておりませんが、バス事業者に対し、市民の皆様の生活に必要なバス路線を維持するための補助を行うとともに、廃止されてしまった路線に代わる交通手段としてデマンド型乗合タクシーを運行しております。</p> <p>全国的な課題となっている運転手不足により、交通事業者も大変苦慮していると同っておりますが、市から様々な提案を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、現在、高齢者向けに発行されているゆうゆうパスについて、市から購入費の助成を行っておりますが、次年度に向け、内容等について検討しているところでございます。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-③
<p><b>伊東出身者のUターンについて</b></p>		
<p>私は教育関係の仕事をしていますが、いくら優秀な人材を育てても市外へ出てしまい、せっかくの人材が伊東で活躍できていないことが一番残念です。高校や大学で伊東から出ても、戻って来やすい仕組みが欲しいと思います。</p>		
<p>回 答</p>		
<p>本市には高等教育機関がないため、以前から、高校を卒業すると市外に出て戻ってこないという現象が見られます。</p> <p>現在、福祉や介護等の資格をお持ちで、本市に移住しその職に従事する方に対し、奨学金の返済支援等の手厚い援助を行う「はじめようITO新生活応援事業」を行っておりますので、今後もUターンが促進できるような施策を検討してまいります。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-④
<b>相続登記されていない土地について</b>		
<p>人口減少とともに、遺産相続等による名義変更がされず、所有者が分からない土地が増えているのではと思っていますが、市では現状どのような対応をしているのでしょうか。</p>		
回 答		
<p>これまで名義の分からない土地は誰も全く触れない状況でしたが、国により一部公共事業等で活用できる仕組みが整備されており、市として事業を実施するに当たり、その土地が必要だと判断した場合には、所定の手続を経た上で活用することが可能となっております。</p>		

## 令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-⑤
<b>不動産価格の下落について</b>		
<p>伊豆高原に不動産を2件持っています。いずれも購入から30年ほど経ちますが、財産価値が大きく下がっています。売却しようとする、購入額の1/10の価格でもなかなか売れない状況です。土地や不動産の価格の下落がひどい状況なので、何とかしていただきたいです。</p>		
回 答		
<p>魅力ある住みやすいまちにすることが重要であると考えておりますので、様々な施策の実施により魅力あるまちづくりにつなげてまいります。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-⑥
<p><b>肥料や農薬への補助について</b></p>		
<p>農業の肥料や農薬が高騰しています。市には補助制度がありますか。ない場合は実施の考えはありますか。</p>		
<p>回 答</p>		
<p>自治体によっては、国による交付金を活用し、高騰した肥料や燃料費などに対する補助制度を設けていることは承知しておりますが、本市としましては、配分できるお金がないということで断念した経過がございます。</p> <p>今後も物価高騰が続き、国の予算が付く場合には、支援について検討していきたいと考えております。</p>		

## 令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-⑦
<b>ローカル 10,000 プロジェクトについて</b>		
<p>総務省で実施しているローカル 10,000 プロジェクトでは、中山間地域に対して手厚い支援をしてくれるようです。池地区では現在圃場整備を行っていますが、ライスセンターなどを作るとなった場合に、この制度を活用できるのでしょうか。</p>		
回 答		
<p>池区として具体的にどのようなものを整備したいかをお示しいただく中で、活用の可否を検討させていただきたいと思います。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-⑧
<p><b>学童クラブでの給食の実施について</b></p>		
<p>学童クラブの利用に際し、夏休み等にはお弁当を作る必要があるため保護者の負担が大きくなりますし、夏には食中毒の問題もあるため、学童クラブでも給食を提供して欲しいです。学校給食センターを活用できないもののでしょうか。</p>		
<p>回 答</p>		
<p>学校給食センターは業者に委託しており、夏休み中には様々な設備の整備等を実施するなど、委託業者との委託契約の中で実施しております。</p> <p>夏休み期間に施設・設備の点検や修繕を実施するため、給食調理に必要な機器を使用することができないことから、学校給食センターを活用した学童クラブへの給食の提供は、困難であると考えております。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-⑨
<p><b>支援が必要な子どもに対する取組について</b></p>		
<p>小中学校の支援員が足りていない学校があると聞きます。伊東市は子どもにかかるお金を削減しているとよく聞きますので、もっと手厚い支援をお願いしたいです。杉の子指導教室に通いたくても、時間が上手く取れず通えないお子さんもいます。</p>		
<p>回 答</p>		
<p>子どもに係る予算につきましては、小中学校の普通教室へのエアコン設置や1人1台のタブレットの導入などの大きな事業を実施した年度が続き、それが一段落したことで全体の予算の中で教育費が減った部分ではありますが、子どもに係る予算自体は年々増やしております。</p> <p>支援員につきましては、現在市の予算で約60人配置しておりますが、予算があっても支援員のなり手がいないという声もあり、今後の課題だと考えております。</p> <p>発達通級指導教室についてはニーズの高まりに伴い、ここ数年でクラス数や運営経費を年々増やす等の対応をしていますが、利用されるお子さんが爆発的に増えているため、利用者の方からは減っているように見えているのではないかと考えられます。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-⑩
<p><b>不登校の子どもたちが通う施設について</b></p>		
<p>不登校の子どもたちを支援する場として、伊東市には「教育支援センターなぎさ」がありますが、伊豆高原（池）から通うとなると通いやすいとは言えないと思います。対島地区、宇佐美地区にも通いやすい施設があれば嬉しいです。</p> <p>また、不登校の子どもたちを受け入れている民間施設に通っている子どもについては、校長先生が施設を訪問し、その内容を確認して登校扱いにできるという制度があるようですが、忙しい校長先生をお呼び立てするのはいかがかと思しますので、その辺りも整備をお願いしたいです。</p>		
<p>回 答</p>		
<p>不登校の子どもたちへの支援につきましては、今年度から専門の職員を一部の中学校に配置しており、事業の検証を行う中で成果を見極めつつ、全校への配置について検討してまいります。</p> <p>フリースクール等の民間施設等について、施設を訪問して活動内容を確認するのは、校長ではなく、担当等が確認しても差し支えありません。最終的な判断を校長がするという事です。</p> <p>また、その判断は、文部科学省通知により「当該施設における相談・指導が不登校児童生徒の社会的な自立を目指すものであり、かつ、不登校児童生徒が現在において登校を希望しているか否かにかかわらず、不登校児童生徒が自ら登校を希望した際に、円滑な学校復帰が可能となるよう個別指導等の適切な支援を実施していると評価できる場合、校長は指導要録上出席扱いとすることができる。」とされ、その要件が示されています。</p>		

令和6年度地域タウンミーティング（池）における意見及び回答（要旨）

意見	区	池-⑪
<p><b>オーバーツーリズムの問題について</b></p>		
<p>市長のトップセールスにより、大室山も海外のお客様が増えています。渋滞や警備、道路の問題など、インバウンドによるオーバーツーリズムの問題が発生しています。インバウンドの誘客はありがたいのですが、その後の検証を行い、問題点や改善点について市と事業者と協力して解決していく取組を行ってほしいです。</p> <p>また、観光課や観光協会には日曜日に職員がいませんが、観光施設等の現場に行かせて混雑する日曜日の状況を確認してはいかがでしょうか。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>インバウンドのお客様が増えているということは認識しており、オーバーツーリズムの問題につきましては、今後、事業者や関係団体の皆様と協議させていただきたいと思います。</p> <p>日曜日の状況につきましては、私どもも様々な形で情報収集を行っており、スマートフォンなどを活用して対応できることもあるかと思っておりますので、検討してまいります。</p>		